

## AI Visibility Guard 利用規約

本利用規約（以下「本規約」といいます。）は、株式会社ビッツァー（以下「当社」といいます。）が提供する WordPress 用プラグイン「AI Visibility Guard」およびこれに付随するライセンス認証システム、サポートその他一切のサービス（以下総称して「本サービス」といいます。）の利用条件を定めるものです。

### 第1条（適用）

1. 本規約は、本サービスの利用に関し、当社と利用者との間の一切の關係に適用されます。
2. 本サービスの利用者（以下「利用者」といいます。）は、本規約に同意した上で本サービスを利用するものとします。
3. 当社が当社ウェブサイト等において随時掲載する本サービスに関する説明、料金表、マニュアル等は、本規約の一部を構成するものとします。

### 第2条（定義）

本規約において使用する用語の定義は、次の各号のとおりとします。

1. 「本プラグイン」とは、当社が提供する WordPress 用プラグイン「AI Visibility Guard」のプログラム、ソースコード、設定ファイル、ドキュメント等をいいます。
2. 「ライセンス」とは、本プラグインを一定の条件のもとで利用する権利をいいます。
3. 「契約期間」とは、当社が利用者に対してライセンス有効開始日を通知した日から、当社所定の期間（通常は1年間）が経過するまでの期間をいいます。
4. 「クレジット」とは、本プラグインにより処理可能なページ数等を管理するために当社が付与するポイントをいいます。

### 第3条（利用契約の成立）

1. 利用者は、当社所定のお申し込みフォームに必要事項を入力・送信することにより、本サービスの利用を申し込みます。
2. 当社が利用者の申込みを承諾し、請求書を発行のうえ、利用者から所定の代金の入金を確認した時点で、本サービスに係る利用契約（以下「本契約」といいます。）が成立します。当社は、契約成立後速やかにライセンス情報およびライセンス有効開始日を記載したメールを送信します。

### 第4条（ライセンスの付与）

1. 当社は、本規約および本契約の条件に従い、利用者に対し、契約期間中、本プラグインを利用者の管理する WordPress サイトにおいて非独占的・譲渡不能な範囲で利用する権利を付与します。
2. ライセンスの対象サイト数、クレジット数、利用可能な機能の範囲は、当社所定のプラン（料金プラン）の内容に従うものとします。
3. 利用者は、本プラグインを本契約で許諾された範囲を超えて利用してはなりません。

### 第5条（禁止事項）

利用者は、本サービスの利用にあたり、以下の各号に該当する行為を行ってはなりません。

1. 本プラグインの全部または一部を、当社の事前の書面による承諾なく、複製、改変、翻案、解析、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等する行為
2. 本プラグインのライセンス認証機能、利用制限機能、クレジット管理機能等を回避し、またはこれを妨害する行為（ライセンスサーバーへの不正アクセスや偽装通信を含みます。）
3. 本プラグインまたはライセンス情報を第三者に転貸、譲渡、共有、再販売する行為

4. 当社または第三者の知的財産権、財産権、プライバシー権、その他の権利・利益を侵害する行為
5. 本サービスの運営を妨害し、または当社の信用を毀損するおそれのある行為
6. 法令、本規約または公序良俗に違反する行為
7. その他、当社が不適切と合理的に判断する行為

#### 第6条（ライセンス認証の回避等と損害賠償）

1. 利用者が、本プラグインの改造、解析、設定変更その他の手段により、ライセンス認証を不正に回避し、または契約期間・クレジット数等の利用制限を不正に無効化・緩和した場合、当社は本契約を直ちに解除することができるものとします。
2. 前項の行為により、当社に損害が生じた場合、利用者は、当社が被った合理的な範囲の損害（不正利用により失われたライセンス料、調査に要した実費、合理的な弁護士費用等を含みます。）を賠償する責任を負うものとします。

#### 第7条（契約期間および契約終了後の取扱い）

1. 本契約の契約期間は、第2条第3号に定める期間とします。契約期間満了の1ヶ月前までに、当社または利用者のいずれかから書面または電子メール等により更新しない旨の通知がない限り、本契約は同一条件でさらに同一期間更新されるものとします。
2. 契約期間満了または本契約の終了時点で、利用者は本プラグインの利用を直ちに中止し、本プラグインおよびライセンス情報を自らの管理するサーバー、端末等から削除するものとします。
3. 利用者は、契約期間中および本契約終了後も、当社の知的財産権を侵害し、または本プラグインのソースコードその他の成果物を不正に利用してはなりません。
4. 利用者は、本契約終了後も、本プラグインのソースコードまたはライセンス認証の仕組みに係る技術情報等を利用して、本プラグインと競合するプラグインその他のソフトウェアまたはサービスを開発し、または第三者に開発させてはならないものとします。
5. 前項の定めは、利用者が当社の秘密情報や本プラグインのソースコード等に依拠することなく、一般に公知の技術情報その他正当に取得した情報に基づいて独自に開発するソフトウェアまたはサービスの提供を妨げるものではありません。
6. 本条の規定は、本契約終了後も有効に存続するものとします。

#### 第8条（知的財産権）

1. 本プラグインおよび本サービスに関する一切の著作権、特許権、商標権、ノウハウその他の知的財産権は、当社または当社に権利を許諾した第三者に帰属します。
2. 本契約に基づき利用者に付与されるライセンスは、あくまで利用権にすぎず、所有権その他の権利が移転するものではありません。

#### 第9条（秘密保持）

1. 利用者および当社は、本サービスの提供に関連して知り得た相手方の技術上、営業上その他業務上の情報であって、秘密として扱われるべきもの（以下「秘密情報」といいます。）を第三者に開示・漏洩してはならず、本契約の目的以外の目的で利用してはなりません。
2. 次の各号のいずれかに該当する情報は、秘密情報から除外されます。
  - (1) 相手方から開示された時点で、すでに公知であった情報
  - (2) 相手方から開示された後、自己の責めによらず公知となった情報
  - (3) 正当な権限を有する第三者から守秘義務を負うことなく適法に取得した情報
  - (4) 開示された情報によることなく独自に開発・取得したことを証明できる情報
3. 本条の義務は、本契約終了後も存続するものとします。

#### 第10条（保証の否認）

1. 当社は、本プラグインおよび本サービスが利用者の特定の目的に適合すること、期待される機能・価値・正確性・有用性を有すること、ならびに不具合・障害が生じないことについて、いかなる保証も行わないものとします。
2. 本プラグインは、現状有姿（“as is”）で提供されるものとし、当社は、本プラグインにバグや瑕疵が存在しないことを保証しません。ただし、当社は商業的に合理的な範囲で不具合の修正に努めるものとします。

#### 第11条（責任の限定）

1. 当社は、当社の故意または重大な過失に起因する場合を除き、本サービスの利用または利用不能に関連して利用者に生じたいかなる損害についても責任を負わないものとします。
2. 当社が利用者に対して損害賠償責任を負う場合であっても、その責任は、当該損害が発生した契約年度に利用者が当社に実際に支払った本サービスの対価総額を上限とします。ただし、当社の故意または重大な過失による場合はこの限りではありません。
3. 当社は、特別損害、付随的損害、間接損害、逸失利益、データ喪失等について一切責任を負わないものとします。

#### 第12条（仕様変更・提供停止）

1. 当社は、技術的・運用上の理由により、本プラグインおよび本サービスの内容・仕様の全部または一部を変更することができるものとします。ただし、主要機能を廃止または大幅に変更する場合は、可能な限り事前に利用者に通知するよう努めます。
2. 当社は、やむを得ない事由がある場合、本サービスの提供を一時中断または停止することができます。この場合、当社は可能な限り事前に利用者に通知するよう努めます。

#### 第13条（契約解除）

1. 当社は、利用者が本規約に違反した場合、催告することなく直ちに本契約の全部または一部を解除することができるものとします。
2. 前項に基づき本契約が解除された場合であっても、利用者がすでに支払った料金は返金されないものとします。ただし、当社の責めに帰すべき事由により本契約が解除された場合は、未経過期間に相当する料金を日割り計算により返金します。
3. 本契約の解除は、当社が損害賠償請求を行うことを妨げるものではありません。

#### 第14条（反社会的勢力の排除）

1. 利用者および当社は、自らが現在、暴力団、暴力団関係企業・団体、総会屋、社会運動等標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団その他これらに準ずる者（以下総称して「反社会的勢力」といいます。）に該当せず、かつ反社会的勢力と以下のいずれの関係も有していないことを表明し、将来にわたっても該当しないことを保証します。
  - (1) 反社会的勢力による支配もしくは経営参加を受けている関係
  - (2) 反社会的勢力を利用していると認められる関係
  - (3) 反社会的勢力に資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしている関係
  - (4) 役員または経営に実質的に関与している者が反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有している場合
2. 利用者および当社は、自らまたは第三者を利用して、相手方に対し、次の各号のいずれの行為も行わないことを保証します。
  - (1) 暴力的な要求行為
  - (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
  - (3) 脅迫的な言動を行い、または暴力を用いる行為

(4) 風説を流布し、偽計を用い、または威力を用いて相手方の信用を毀損し、もしくは業務を妨害する行為

(5) その他前各号に準ずる行為

3. 当社は、利用者が前二項のいずれかに違反していることが判明した場合、何らの催告を要することなく、本契約の全部または一部を解除することができます。

4. 前項に基づき本契約が解除された場合であっても、当社は当該解除により利用者に生じた損害について一切責任を負わず、利用者は、当社に生じた損害について賠償する責任を負うものとします。

#### 第15条（準拠法・合意管轄）

1. 本規約および本契約の準拠法は、日本法とします。

2. 本規約または本契約に関連して紛争が生じた場合、当社の本店所在地を管轄する裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上

【制定】 2025年11月25日

【最終改定】 2025年11月25日

【事業者名】 株式会社ビッツアー